



# シニア世代の海外旅行に関する 経験および意識について

～ アンケート調査結果(抄録版) ～

株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ

2010年4月

*Strictly Confidential*

# シニア層における海外旅行経験に関する調査 エグゼクティブサマリ

プライベートでの  
海外旅行経験者  
はおよそ8割

- プライベートでの海外旅行経験者の割合は性別年代を問わず、80%前後となっている
- プライベートでの海外旅行経験が無い人によると、これまで海外旅行に行かなかった理由としては「費用」、「言葉」、「時間」がその阻害要因になっている
- 海外旅行の頻度は多くの人が年間0～3回までの範囲と回答している
- 年代別に見ると、60歳台の女性が過去3年間で3回(年平均1回)と、他のセグメントと比べて海外旅行の頻度が多い
- 旅行者の6割は旅行代理店の団体旅行を利用している
- 海外旅行の同伴者については、男性が年齢が上がるに連れて夫婦での旅行が増えるのに対し、女性は年齢が上がるに連れて友人との旅行が増える傾向にある

人気の旅行先は  
西ヨーロッパ

- 実績では東アジア(中国、香港、台湾、韓国)とハワイ・グアム・サイパン、そして西ヨーロッパが20%ずつとなっているが、今後行きたい先としては西ヨーロッパをあげる人が34%と最も多くなっている
- 実績、今後の訪問意向ともに北米(アメリカ、カナダ、メキシコ)は10%前後とヨーロッパなどに水をあけられている

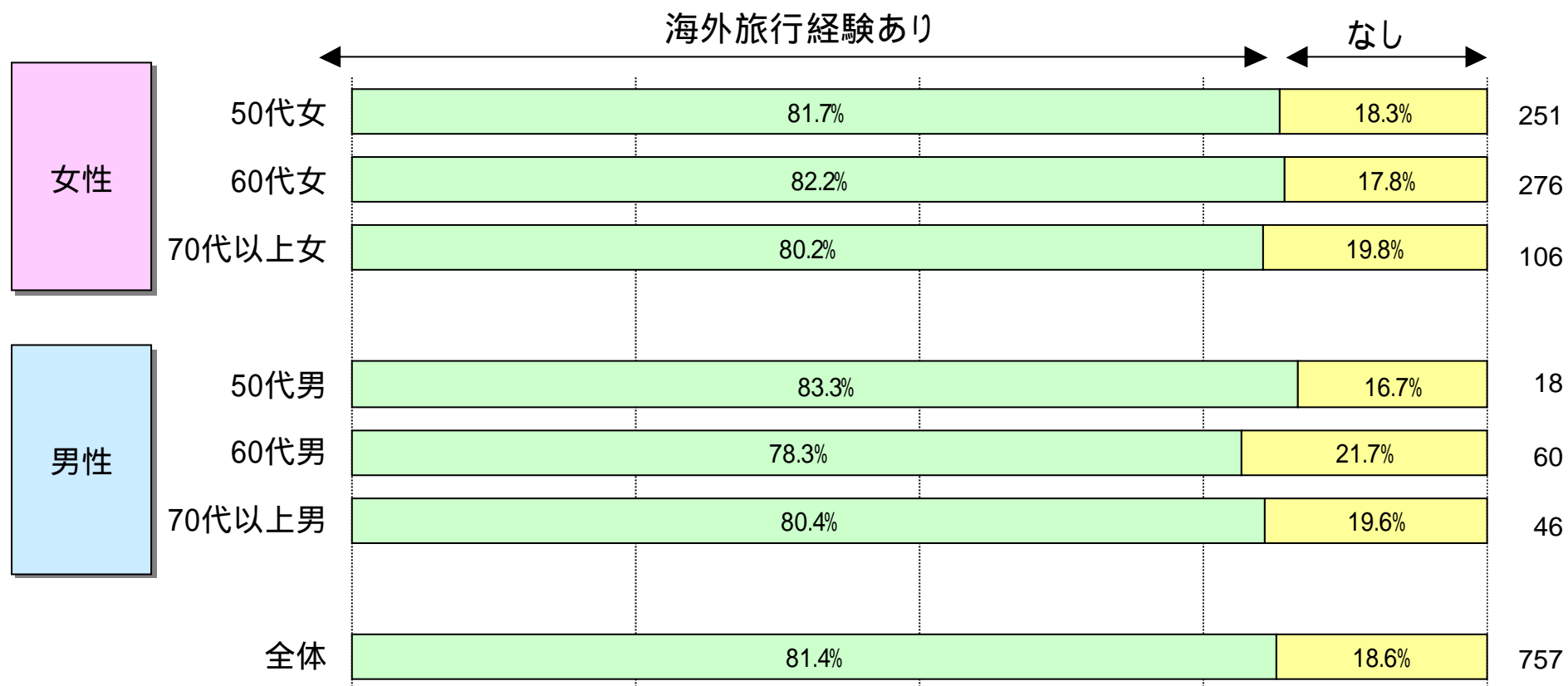
旅行代理店ではJTB  
航空会社ではJAL、  
ANAの評価が高い

- 使ってよかった旅行代理店としては、JTBをあげる声が多
- また使ってよかった航空会社としては、日本航空、全日空をあげる声が多く、日本語が通じる安心感がなお高く評価されているものと考えられる

# これまでの(プライベートでの)海外旅行経験

年齢帯・性別 (プライベートでの)海外旅行経験の有無

(単位: %)

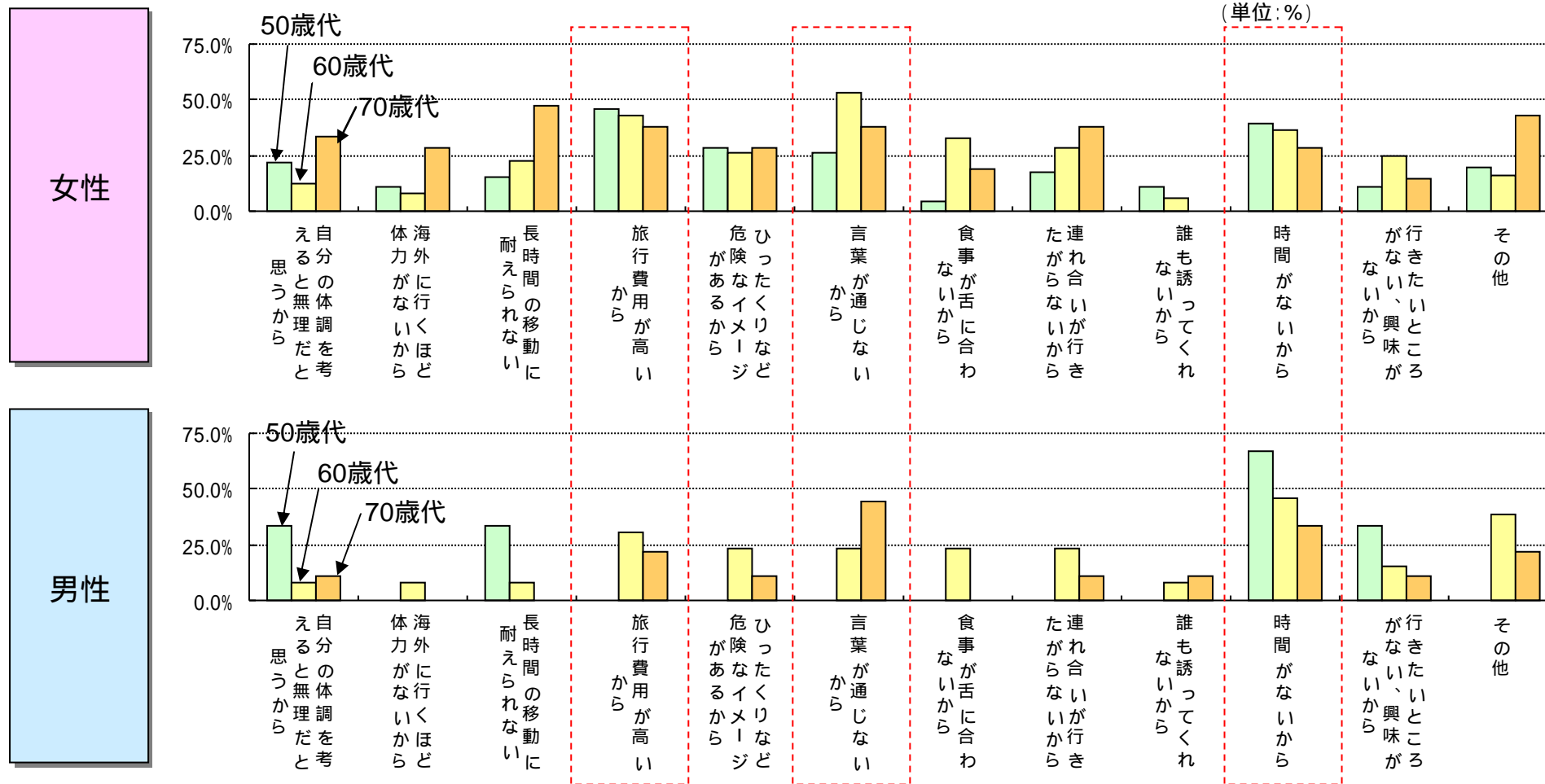


私的な海外旅行の経験が全くない人が2割弱存在

# 今まで海外旅行に行かなかった理由(未経験者)

今まで海外旅行に行かなかった理由 (性別年齢帯別比率)

N=141



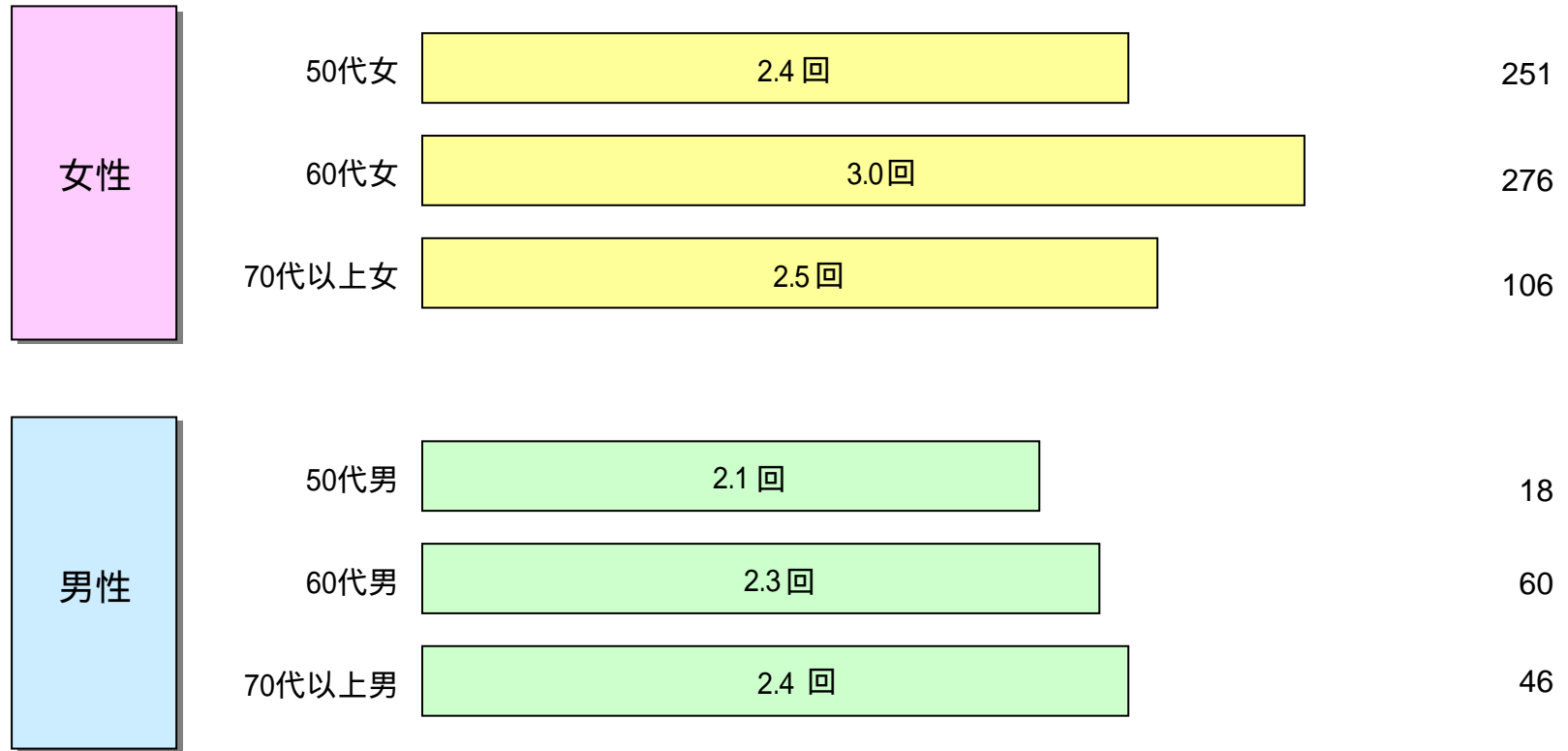
「費用」、「言葉」、「時間」が三大要因  
男性50歳代は「時間が無い」が筆頭

# 過去3年間の海外旅行の回数(性別年齢帯別平均)

年齢帯・性別 過去3年の海外旅行回数(セグメント平均)

N=757

(単位:回)



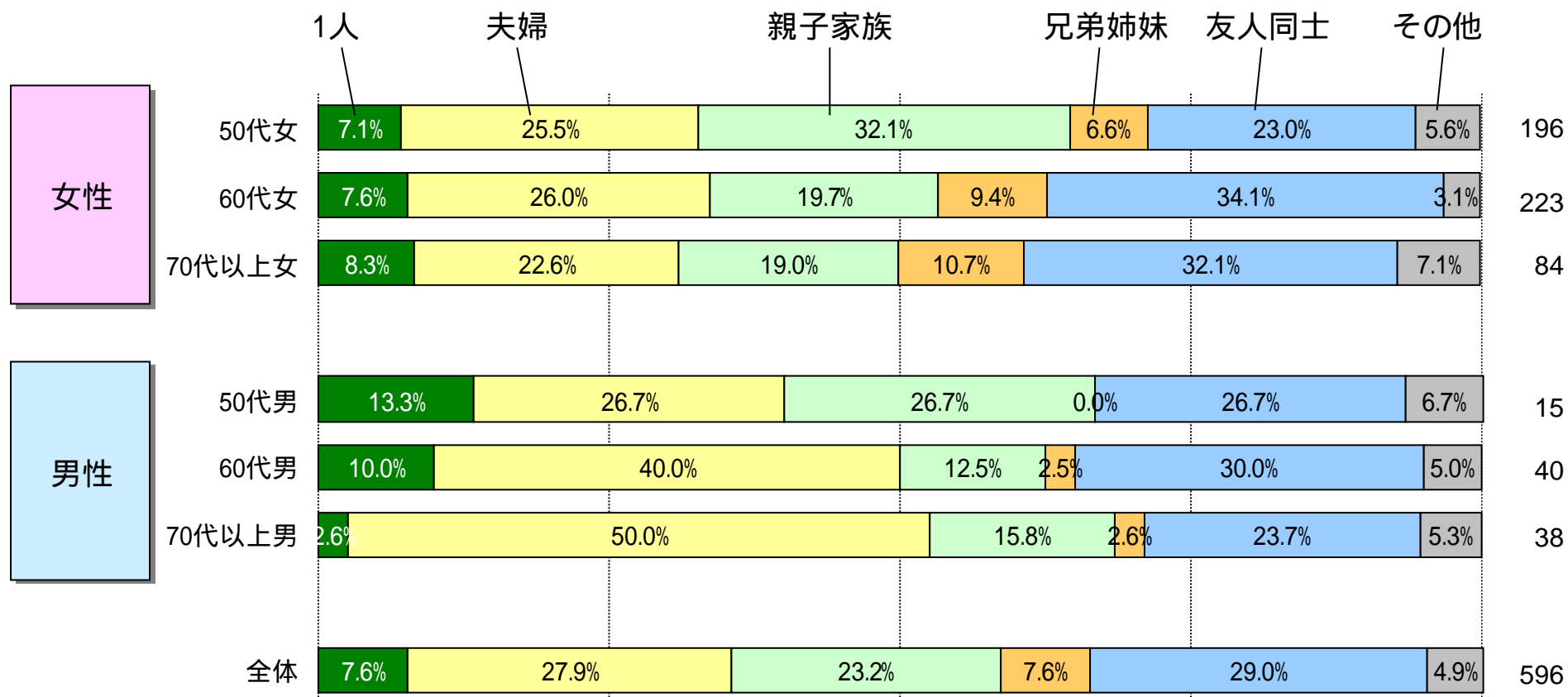
60歳代女性がもっとも平均回数が多い

# 最近行った海外旅行の同伴者

年齢帯・性別 最近の海外旅行(同伴者)

N=596

(単位: %)



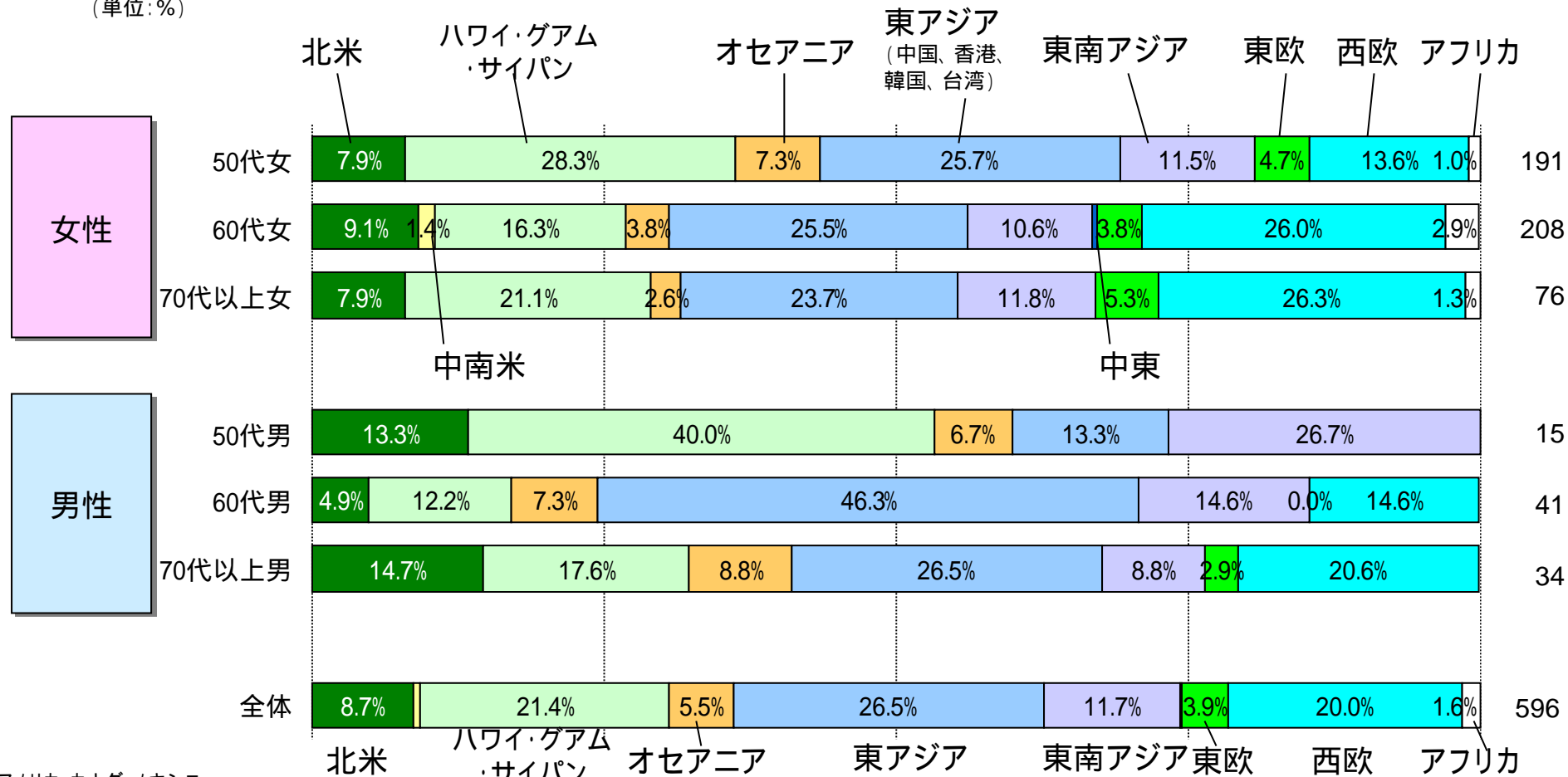
男性は高齢層になるほど、夫婦で行った比率が高くなる

# 一番最近行った海外旅行の渡航先

年齢帯・性別 最近の海外旅行(渡航先)

N=596

(単位: %)



北米: アメリカ・カナダ・メキシコ  
 中南米: カリブ海含む  
 オセアニア: 南太平洋諸国含む  
 東アジア: 中国・香港・台湾・韓国など  
 東南アジア: インド含む  
 東ヨーロッパ: ロシア含む  
 西ヨーロッパ: 北欧・南欧含む

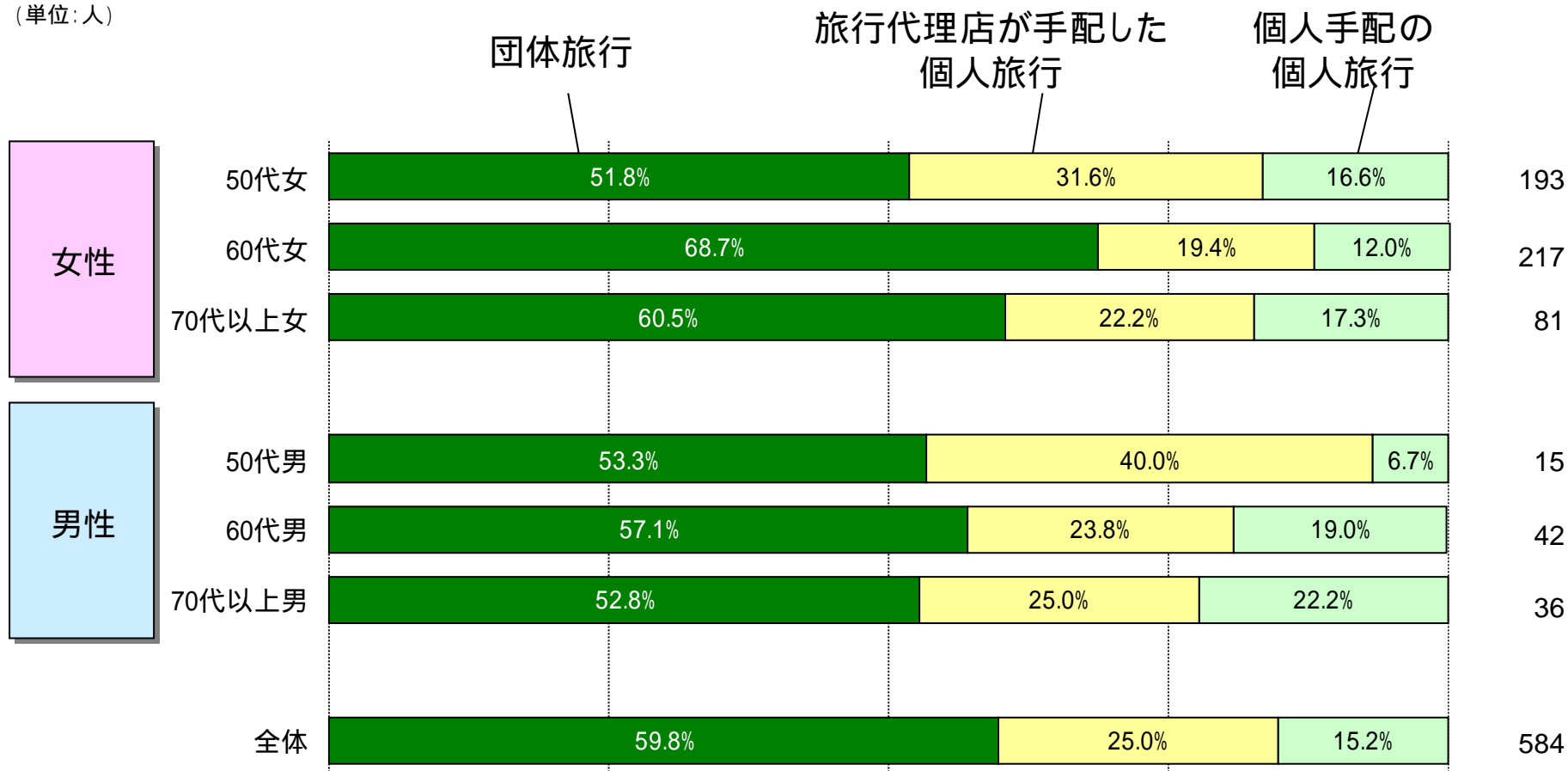
東アジア、ハワイ・グアム・サイパン、西ヨーロッパが2割を超える。北米は10%に満たない

# 一番最近行った旅行のタイプ(団体 or 個人)

年齢帯・性別 最近の海外旅行(旅行のタイプ)

N=584

(単位:人)



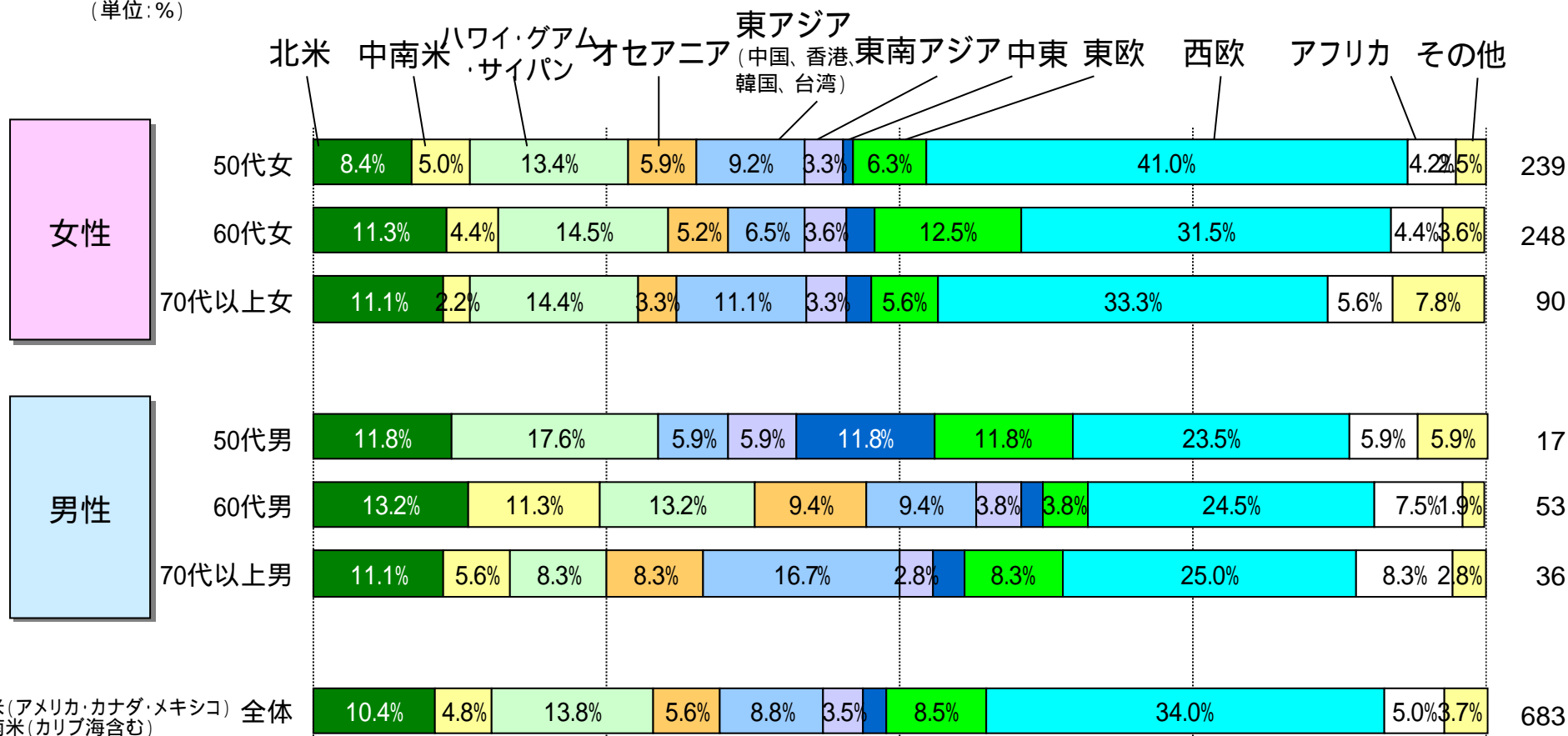
6割が旅行代理店の企画した団体旅行

# 今後行ってみたい海外旅行先

年齢帯・性別 今後行ってみたい

N=683

(単位: %)



1. 北米(アメリカ・カナダ・メキシコ)
2. 中南米(カリブ海含む)
3. ハワイ・グアム・サイパン
4. オセアニア(南太平洋諸国含む)
5. 東アジア(中国・香港・韓国など)
6. 東南アジア(インド含む)
7. 中東
8. 東ヨーロッパ(ロシア含む)
9. 西ヨーロッパ(北欧・南欧含む)
10. アフリカ

女性を中心に、西ヨーロッパ志向が強い

## 本調査の概要

---

調査テーマ	■ 50歳代以上の男女を対象に海外旅行に関する意識および利用実態に関する調査
調査方法	■ 質問票によるアンケート調査
調査期間	■ 2010年4月6日 ~ 2010年4月20日
調査票送付先	■ 首都圏在住、50歳以上の男性および女性 ■ 送付対象者数 1,550名
回答数	■ 回答者数 757名 ■ 回収率 48.8%